

心 便り

☎525-0041 草津市駒井沢町 246-1

小規模多機能型居宅介護事業所 心

☎077-568-3175 📠077-568-3178

急に朝夕がめっきり涼しくなり、季節の移り変わりを肌で感じるが多くなりました。車で走っていても、田んぼには黄金色した稲穂がたわわに実り、バッタや赤とんぼが飛び回り秋の訪れを告げているように感じる今日この頃です。秋と言えば、食欲の秋・読書の秋・実りの秋など人それぞれで感じかたが違うものですね。見学・相談は随時受付しています。お問い合わせ下さい。 ※来所時は、マスクの着用をお願い致します。

敬老週間



心 では、19日(日)～25日(土)まで、敬老週
間と銘打って、いつもより豪華な昼食を

召し上がって頂き、おやつには紅白饅頭をお出ししました。ご利用者には、帰宅前に職員が心を込めて作成した、バラの一輪ざしをプレゼントさせて頂きました。日頃の感謝をどのようにご利用者にお伝えすれば良いか、企画担当職員が中心に考えてくれました。ご利用者からは、「ありがとう」「こんなことをしてもらって、嬉しいです」と、言う声も聞かれました。ご利用者が掛けて下さる感謝の言葉が職員一人ひとりを勇気づけ、これからもご利用者の為に私たち職員が出来ることを一生懸命させて頂こうと思え、前向きになれるのです。そんな素敵にご利用者に、少しでも感謝の想いを職員一人ひとりが「いつも、ありがとうございます」とお伝えさせて頂きました。改めて、想いを言葉に乗せて伝える大切さをご利用者からも職員からも学ばせていただいた一週間でした。敬老週間の行事を企画してくれた職員、その職員をサポートしてくれた他の職員にもこの場を借りて、感謝の言葉を伝えたいと思います。「何カ月も前から計画し、当日の出勤の職員もご利用者に楽しんでもらおうと、一人ひとりが協力し合い、声を掛け合い素敵な敬老週間を演出して頂き、ありがとうございます」これからも、職員一人ひとりがご利用者に満足してもらえらる行事や環境整備に努めて行きたいと考えております。また、コロナウイルス感染症が落ち着きましたら、家族様や地域の皆様にも事業所へ足を運んで頂きたいです。



心の日常



可愛い物を持ち帰ってくれました。秋を感じるひと時になりました。羊羹は、主任が余っているあずきを使い短時間で仕上げてくださいました。職員それぞれの得意分野を活かし、日々何が出来るのかを考えてくださっています。

心の～えん日誌



今年の4月から、地域の方に畑をお借りして、心の～えんという活動を始めました。毎月の心便りで経過をお伝えしていますが、今月は夏野菜の収穫を終え、畑を耕したばかりの写真と10月上旬頃に

初収穫を迎えるさつま芋畑の写真を載せております。今月は、心の～えんの写真が少なく毎月楽しみに記事を読んで下さっている方々には申し訳ありません。もう少しすれば、秋冬の野菜を植えようと、ご利用者と職員が話し合い決めて下さると思います。心の～えんを始めるに当たり、勝手に目標を設定させて頂きました。その目標は、1年間通して季節の野菜が収穫できる「心の～えん」にすることです。まだまだ、初めたばかりで、季節の野菜が何なのかさえ分かっていないのが現状ですが、ご利用者や地域の方々、インターネットなどで情報収集し、何とか秋冬の野菜も育てられそうです。今回は、新たなチャレンジも考えており、それは「大根を種から育ててみよう」と計画していることです。夏野菜は全て、苗を購入し育てましたが、今回は種からチャレンジしようと思います。上手く育つのか分かりませんが、ご利用者と職員が一緒になりワイワイ喋りながら、水やりをしたり草引きをしたり、そんな自由な発想から「心の～えん」は生まれました。これからも大事に守っていきます。

心では、ご利用者と一緒に小物作りや雑巾縫いを行っております。小物作りでは、布や毛糸、雑巾縫いでは、タオルを使用しています。中々、事業所で準備をすることが難しく布や毛糸、タオルの寄付を募らせて頂きたいと思っております。雑巾は、近隣の教育機関へ寄付を行っております。

心の理念

- ・なじみの地域で、ほっとできる場所を提供していきます。
- ・地域の中で、最後までその人らしく暮らすことができるように支援していきます。
- ・その人の思いや行動にさりげなく気づき、専門的な知識や技術で支援していきます。